

好きな暮らしと造作家具の、ちょうどいい関係



奥様お気に入りのコの字型キッチン。左のテーブルが木工職人の手によるオリジナルです。頑強な集成材を使い、既成のシステムキッチンと段差が生じないように調整されています。



リビングからキッチンを見る。調理だけでなく日常的な家事に必要なものはほとんどパントリーに収められているため、家事動線がシンプルです。

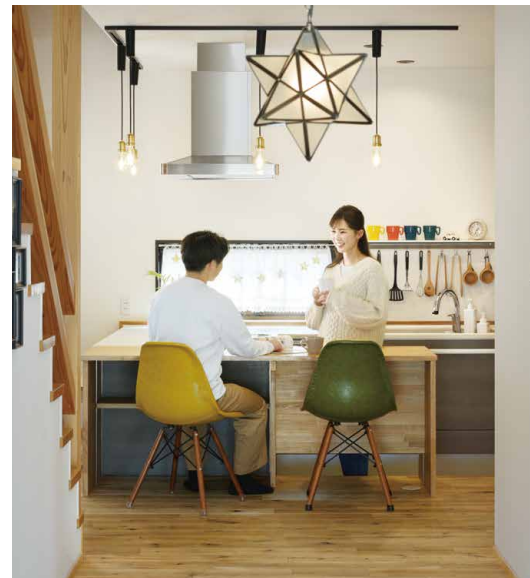
居心地のいいキッチンにしたい、 という思いが出发点

奥様が居心地の良さに一番こだわったのはキッチンでした。ご主人はもちろん、お客様が訪れた時でも、テーブルに座る人と視線を合わせて話しながら作業ができるコの字型のオープンキッチンを希望。L型キッチンに高さを合わせたテーブルを造作しました。さらに機能の点でこだわったのがパントリー。床から天井まで可動式の棚を設け、食器や雑貨、文房具までよく使う道具類を整理して収納しています。リビング側から見える部分には置き方にも気を遣い、「見せる収納」に。圧巻なのは廊下側に面して24個の籐かごを収めた壁面収納。日常的な家事はキッチン周りで済ませられる、効率的かつ美しい空間になりました。「テーブルや棚まで私の暮らし方に合わせた私専用の場所。ここに立つだけで落ち着くんです」と奥様。一日の大半を過ごす、癒しの場所にもなっています。

部屋ではなく「余白」を活かすことでできた、 ちょうどいい場所

N様ご夫婦からは、ともに家で仕事ができる場所がほしい、というご要望がありました。かといって、書斎をつくるほどではありません。「子どもができた時のことや、さらにその先を考えると、初めから部屋を固定しない方がいいですからね」とおっしゃるご主人。そこで玄関土間につながる階段下の収納スペースに簡単なテーブルを造作しました。奥様用には階段の踊り場に頑丈な天板を取り付け、それぞれのワークスペースを確保。設計時にはまったく想定外でしたが、ご夫婦ともにテレワークになった今でも快適に過ごしています。「少しでも余った空間にテーブルや棚を造ることでこんなに居心地が良くなるんですね」と、奥様。造作家具でちょうどいい場所と時間が実現できたと喜んでおられます。

作業をしながらテーブルに座っている人と話するとき視線の高さが近くなるように、キッチン内部の床は10cmほど低くしています。



見た目にも美しく、家事もしやすい、居心地のいい空間。
手づくりの造作家具を上手にを使って
好きな暮らしをそのままデザインしたN様邸をご紹介します。



玄関土間に入ると正面にキッチンが見えます。左は外で使うものをしまう階段下収納、右にはシューズクローゼットがあります。中に上がるのと右に洗面台があり、帰宅してすぐ手洗いやうがいができます。



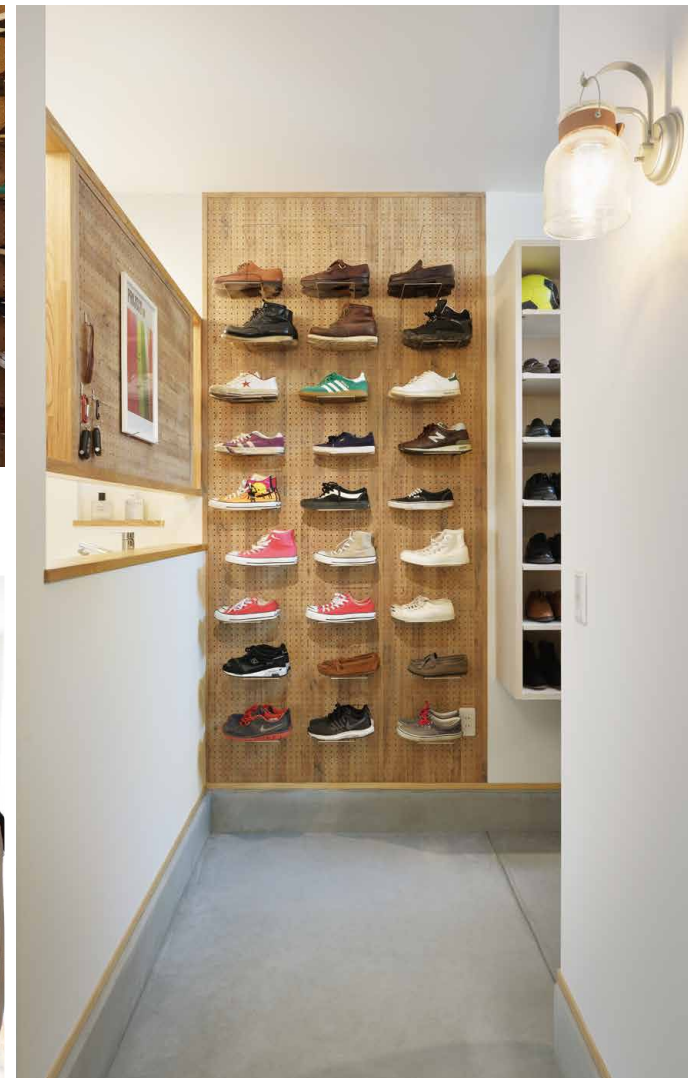
洗面台は鏡部分を玄関側からも見えるように開放的に工夫。これも家づくりと一体となった造作家具だからできること。



左/階段下収納にはご主人用のワークスペースが、右上/左は収納、右が洗面台でその奥がバスルーム、正面は勝手口。効率的で使いやすく、空間にムダがないことがよく分かります。右下/階段を駆け下りる愛犬のコムギちゃん。その上の踊り場が、表紙写真でも紹介した奥様のワークスペース。



床から天井まで、24個の籐かごを配置。よく使うものは手近に、季節ものは最上段にしまうなど、入れるものを決めていきます。



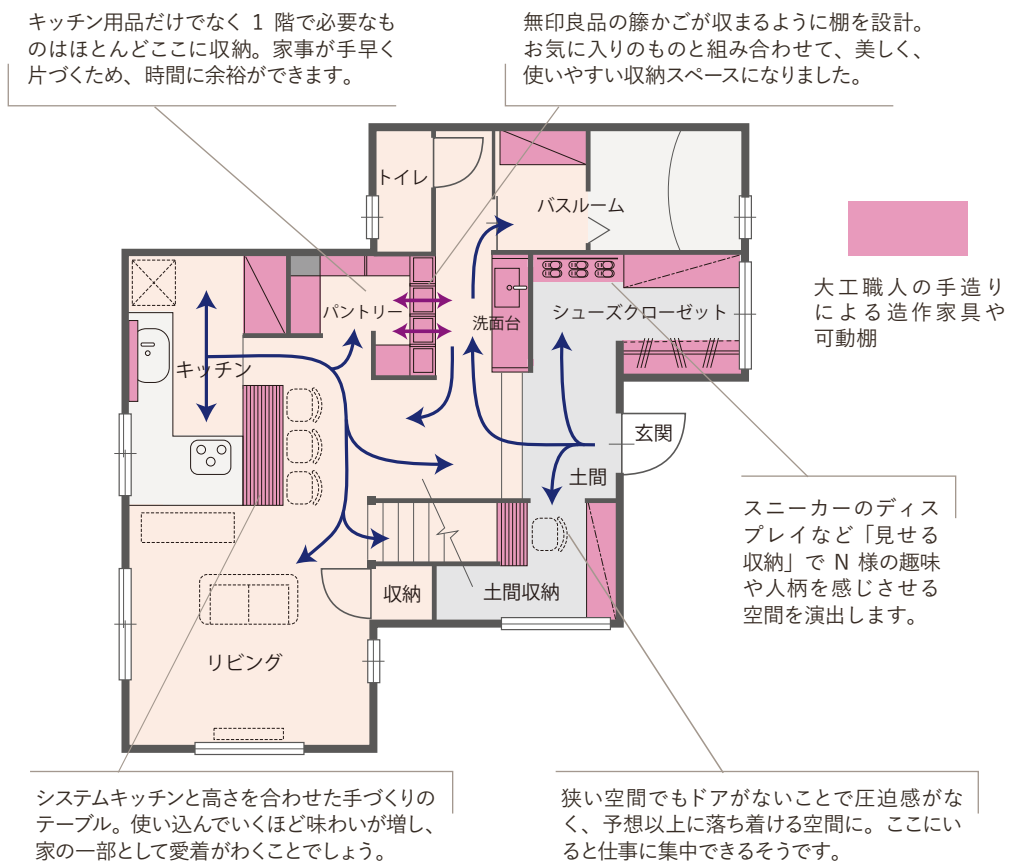
ショップのディスプレイのようなシューズコーナー。右手奥は通常の棚式になっています。また手前側はコートかけになっており、外着はその中で着替えるため、家の中はほこりや泥などの汚れをいれにくくなっています。



DAIKEI'S VIEW

住まい工房ナルシマ 設計担当 成島 大敬

木の空間×好きな暮らし×造作家具=最適な空間



※平面図はイメージです

お客様の「好きな暮らし」を実現できる ナルシマの秘密、とは？

私たちは家づくりのプランニングをするとき、お客様がどんな暮らしをしたいのか、それをどう実現しようかと、徹底的に想像します。もちろん、なんでもできるといわけではありませんが、「無理だと思っていたことが実現できて本当に嬉しい」(N様奥様談)と言っていたときには、やりがいを感じます。

家には生活するための空間と収納スペース、設備機器、家具が必要になります。幸いなことに、ナルシマには収納棚はもちろん、テーブルや椅子までオリジナルで造ることができる腕の良い大工職人がいます。そうすると、この収納にはこれだけ棚がほしいとか、ここに置くテーブルはこういう大きさがいい、ということが自由に設計できるのです。N様邸はまさにその力がすべて発揮された好例でした。たとえば、寸分違わず高さを合わせたキッチンのテーブル、玄関も見通せる洗面所の鏡面、ショップのディスプレイのようなシューズクローゼット等々。既成の家具を前提にしては、実現できなかったことばかりです。お客様が求める自分らしい、居心地のいい空間を実現できるナルシマの秘密。それは家具まで造る大工職人の優れた技術があることそののです。(大敬)